

**バイオジェット燃料生産技術開発事業  
実証を通じたサプライチェーンモデルの構築**

# **公募説明資料 (公募概要)**

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
新エネルギー部 バイオマスグループ

- 本資料は注意すべき点について、抜粋して説明しております。
- 詳細については、公募要領の記載事項をご確認ください。

## 公募要領（本文）表紙

### ご注意

- 本事業への応募は、NEDOへの提出に加え、**府省共通研究管理システム（e-Rad）**への研究機関及び研究者※代表者登録、応募基本情報の入力が必要です。（**機関承認が必要な事業です**）
- **e-Rad**で登録手続きを行わないと**応募ができません**。研究登録手続きに**時間を要する**場合がありますので、余裕をもって登録手続きをしてください。  
(提案書・申請書ご提出日までには登録手続きを完了して下さい)
- 応募内容提案書は代表して一法人からの登録となりますが、**法人ごとにIDの取得が必要**となります。
- 今回の事業への申請に当たって、公募要領を入手し、電子申請を行い、登録した「**応募基本情報**」をダウンロードし提出して下さい。

※本公募要領での研究者、研究機関は実施者、実施事業者を示すものとします

# 1. 件名／2.事業の概要

公募要領（本文） p.1-3

## ◆ 事業名称：

バイオジェット燃料生産技術開発事業  
実証を通じたサプライチェーンモデルの構築

## ◆ 事業の形態：

助成事業

## ◆ 事業期間：

2020年度～2024年度の5年間以内※

NEDOの指定する日から2025年2月28日（金）  
まで（5年未満の事業期間にあつては、最終年度の2月  
最終営業日まで）

※詳細FS、詳細設計、建設等実証までのフェーズを勘案し、事業期間が3年を超える事業においては、助成事業期間を2年目終了時まで、3年目終了時まで、4年目以降に区切ることを原則とし、事業期間2年終了時および3年終了時に外部有識者による審査を経たうえで事業の継続を行うものとする。

## ◆ 事業規模：

事業規模は助成の補助率による。

（各年度の助成金の総額）

2020年度	：合計	500百万円程度
2021年度	：合計	700百万円程度
2022年度	：合計	800百万円程度
2023年度	：合計	1,740百万円程度
2024年度	：合計	3,110百万円程度

- ・ 予算の範囲内で採択します。なお、契約金額は審査の結果及び国の予算の変更等により提案額から減額することがあります。

2020年度の1件当たりの年間の助成金の規模は300百万円未満とします。

## ◆事業目的

- ✓ 想定する**将来の製造規模を技術的に実現し得る純バイオジェット製造技術を軸に**、**将来の事業化を見据えた規模でのバイオジェット燃料製造および供給に係るサプライチェーンモデルを構築する実証事業（助成事業）を実施し**、**バイオジェット燃料のサプライチェーンの早期確立を図り**、**2030年頃までの確実な事業化の実現に資する。**

## ◆事業内容

- ✓ 本助成事業では、2030年頃までに一貫製造技術の確立、及び純バイオジェット燃料の規格（ASTM D7566）の認証取得が見込めるものであって、既存のジェット燃料のライフサイクルでの温室効果ガス排出量と比較して、温室効果ガス排出削減効果が見込まれ、且つ、想定する将来の製造規模を技術的に実現し得る純バイオジェット製造技術を想定し、具体的には、現行事業で推進中である微細藻類技術及びガス化・FT合成技術に加え、Alcohol to Jet (ATJ) 技術等を想定する。
- ✓ ただし、製造技術は上記以外であっても社会実装という観点から同等もしくは同等以上の技術レベルであると判断される場合は対象から排除しないものとする。

## ◆事業内容

- ✓ 本助成事業では、最適な原料の選定、バイオジェット燃料製造や供給に係るサプライチェーンの最適化、バイオジェット燃料製造コスト低減、事業持続性、化石エネルギー収支および温室効果ガス削減効果等についての**少なくとも以下（次ページ）の項目について検証を図るためのサプライチェーンモデルを構築し、助成事業終了後の事業化を目的とした実証事業を行います。**

## ◆事業内容

### ▶ サプライチェーンモデルの構築

#### ①原料調達プロセス

（原料の入手の可能性と継続性、想定する入手先（輸入を含む）、契約、コスト、法規対応、利用実績等の知見や調査による、実証の期間およびそれ以降の原料の安定調達について。）

#### ②純バイオジェット燃料製造以降のプロセス

製造場所、製造規模、製造プロセス等を含めた製造に係る諸条件の検証、製造に係る詳細設計、品質管理、輸送（ASTM D7566の認証が未取得の技術にあっては、取得までの計画を含む）

#### ③純バイオジェット燃料の混合以降のプロセス

純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合、混合後の品質保証体制、混合前および混合後の燃料の運搬・保管、使用先施設への供給等の方法。

## ◆事業内容

### ➤ 事業性評価

#### ④環境影響評価

ICAOの各算出方法に基づく化石エネルギー収支、温室効果ガス削減効果、土地利用変化、生物多様性への影響等についての検証。

#### ⑤製造コスト評価および事業性評価

多様な純バイオジェット製造技術のうち先行するHEFA技術によるバイオジェット燃料価格に対し競争力のある製造コストの実現性、および事業持続可能性。

### ➤ 事業化計画

#### ⑥助成事業終了後の事業化計画

ただし、サプライチェーンモデルの構築①～③のうち、①、②は必須とし、③は純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合プロセスや、混合プロセスの想定される実施場所などの特殊性を勘案し、その必要性に応じて実施することとするが、事業性評価および事業化計画には本範囲を含むものとする。

公募要領 (本文) p.1-3

## ◆ 事業スキーム図

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)



事業者

助成(1/2以内、2/3以内)  
事業者の企業規模による

## ◆ 交付規程について

本助成事業は「課題設定型産業技術開発費助成金交付規程」に沿って実施します。

## ◆助成対象事業者

助成事業者は、単独ないし複数で助成を希望する、原則本邦の企業、大学等の研究機関であることが必要です。

- i. 助成事業を的確に遂行するに足る技術的能力を有すること
- ii. 助成事業を的確に遂行するのに必要な費用のうち、自己負担分の調達に関し十分な経理的基礎を有すること。
- iii. 助成事業に係る経理その他の事務についての的確な管理体制及び処理能力を有すること。
- iv. 当該助成事業者が遂行する助成事業が、別途定める基本計画を達成するために十分に有効な研究開発を行うものであること。
- v. 当該助成事業者が助成事業に係る企業化に対する具体的計画を有し、その実施に必要な能力を有すること。
- vi. 当該助成事業者が助成事業を国際連携による共同研究案件として実施することを目指している場合は、連携する国外の企業等（助成対象事業者には含まない）と共同研究にかかる契約・協定等を締結すること（又は連携の具体的予定を示すこと）ができること。また、知財権の取扱いを適切に交渉、管理する能力を有すること。

## ◆助成対象事業

助成事業として次の要件を満たすことが必要です。

- i . 助成事業が、別紙の基本計画に定められている事業計画の内、助成事業として定められている 事業項目の実証事業であること。
- ii . **助成事業終了後直ちに実用化を目指す**上での開発計画、投資計画、実用化能力の説明を行うこと
- iii . 助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済に如何に貢献するかについて、バックデータ※も含め、具体的に説明すること。（**我が国産業の競争力強化及び新規産業創出・新規企業促進への波及効果の大きな提案を優先的に採択します。**）  
※バックデータ：上記の基礎となる主要な事項（背景、数値等）
- iv . なお、当該助成事業終了後、追跡調査や特許等の取得状況及び事業化状況調査（バイドールフォローアップ調査）に御協力いただく場合があります。
- v . 助成事業の事務処理については、N E D Oが提示する事務処理マニュアルに基づき実施すること。

## ◆助成対象費用

助成の対象となる費用は、課題設定型産業技術開発費助成金交付規程第6条に示すとおりです。

## ◆補助率及び助成金の額

企業規模に応じて、以下の比率で助成する。

- ・大企業 : 1/2助成
- ・中堅・中小・ベンチャー企業 : 2/3助成

2020年度の1件当たり年間の助成金の規模は300百万円以下とします。

## ◆事業実施対象国・地域について

- 本事業実施の対象国は、**本邦及び本邦以外におけるすべての国・地域**。ただし、**外務省海外安全情報において、危険情報レベル2以上に指定されている地域は除きます**。
- ✓ 事業開始後に危険情報レベルが2以上に引き上げられた場合に、危険情報レベルが1以下に引き下げられるまで、または十分な対策により安全が確保できることが確認されるまで、現地への出張は中断することがあります。
- ✓ 再開にあたっての必要な手続きについては、ケース毎にNEDOが判断します。危険情報レベルの1以下への引き下げが見込まれず、安全確保が困難と判断される場合には、事業を中止する場合があります。
- ✓ なお、事業者の安全対策に関する規程が本規定と異なる場合は、個別に対応を協議します。

# 4.提出期限及び提出先

公募要領（本文） p.6

公募要領に従い提案書を作成し、電子データをメールにてご提出下さい。  
(原則、持参、FAXによる提出は受け付けません)

【提出期限】 **2020年7月17日（金） 正午 必着**

【提出先】

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
新エネルギー部 バイオマスグループ

中森 柴原 吉田 木邑 小林 宛て

mailアドレス：nedo.biofuel@ml.nedo.go.jp

題名を『「バイオジェット燃料生産技術開発事業／実証を通じたサプライチェーンモデルの構築」に係る提案書（代表事業者名●●●●）』と記載ください。

- **NEDOへのメール送信の容量は最大10MBになりますので、大容量の場合は分割もしくは大容量ファイル送信サービス等での送信をお願いします。**
- **提出後、書類不備等により修正、再提出となる事が多くみられます。**
- **今回は電子メールによる受付に限ります。書類確認、再提出のお願い等に時間を要することが予想されますので、期限に余裕を持った提出をお願いします。**

### 新型コロナウイルス感染症により影響がある場合について

- **新型コロナウイルス感染症の影響により、提案書への押印が提出期限までに完了しない場合、全法人または一部法人が未押印の提案書も受け付けることとします。ただし、8月7日（金）までに、改めて押印済みの表紙をご提出ください。この際、提案内容は変更できません。**

## 5.応募方法

### (1) 提案書の作成について

公募要領（本文） p.6

助成金を希望する事業者は、**提案書および受理票の電子データ**を提出してください。

なお、提案書は日本語で、添付書類を含め全て A4 サイズとしてください

※提案書及び記入上の注意事項は、N E D Oウェブサイトの公募情報からダウンロードできます。

<https://www.nedo.go.jp/>

## 5.応募方法

### (2) 提案書に添付する書類

公募要領（本文）p.6

提案書（様式第 1 及び添付資料 1～4）1 式には**次の資料又はこれに準ずるものを添付してください。**

- ✓ 主任研究者研究経歴書
- ✓ N E D O 研究開発プロジェクトの実績調査票
- ✓ 利害関係の確認について
- ✓ 会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書）
- ✓ 直近の事業報告書
- ✓ 財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）（直近 3 年分）
- ✓ 国外企業等と連携している、又はその予定がある場合は当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料
- ✓ 提案受理書
- ✓ e-Rad を用いる場合は、e-Rad 応募内容提案書
  - **別添 4 チェックリストを参照ください。**
  - **電子データは提出物毎にデータを分けてご提出ください。**

## (3) 提案書の受理及び提案書に不備があった場合

- 応募資格を有しない者の提案書又は不備がある提案書は受理できません。
- 受理した際には提案書受理票をお渡しします。予め受領表にご記入の上、データご送付ください。
- 提出された提案書は返却しません。
- 提案書に不備があり、提出期限までに修正・再提出ができない場合は、提案は無効となります。書類も返却します。

## (4) 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）への登録

- 応募に際し、前もって e-Rad へ申請することが必要です。連名の場合には、代表して一法人から登録を行っていただきますが、その他の提案者や再委託および共同実施先の研究者について、研究分担者の欄に研究者の登録を代表事業者にて必ずお願いします。詳細は e-Rad ポータルサイトをご確認ください。

(注意)

- 登録手続きに2週間以上要する場合があります。
- 余裕をもって登録手続きをしてください。

(提案書・申請書ご提出日には登録手続きを完了して下さい)

## （1）審査の方法について

- 外部有識者による採択審査委員会とN E D O内に設置する契約・助成審査委員会の二段階で審査します。
- 採択審査委員会では、提案書の内容について審査し、本事業の目的の達成に有効と認められる助成事業者候補を選定します。
- 契約助成委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、N E D Oが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。
- 必要に応じてヒアリング審査や資料の追加等をお願いする場合があります。
- 助成事業者の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられません。

## (2) 審査基準

公募要領（本文） p.7-8

採択審査委員会では、次の視点から審査します。

### i. 事業者評価

- ・助成事業を遂行する経験、技術的能力、ノウハウを有しているか。
- ・財務能力を有しているか。（提案されている実証事業規模を実施可能か）
- ・経理等事務管理、処理能力を有しているか。
- ・実証事業を遂行できる体制であるか。

### ii. 事業化評価（実用化評価）

- ・バイオジェット燃料の需要に対して十分貢献しうる事業化を目指すものか。
- ・バイオジェット燃料市場やサプライチェーン構築に裨益するものか。

## (2) 審査基準

公募要領（本文） p.7-8

採択審査委員会では、次の視点から審査します。

### iii. 企業化能力評価

- ・ 予め事業性評価や可能性調査を十分に実施し、事業可能性について検討されているか。
- ・ 事業の想定において課題、障壁およびその解決アプローチが整理されているか。
- ・ 事業の範囲が明確であるか、事業の中での事業者の範囲が明確であるか。
- ・ 原料選定の妥当性、安定調達の持続性が担保されうるものか。
- ・ 事業の想定において十分な経済合理性があるか。事業の拡大、展開についての可能性はあるか。
- ・ 共同提案の場合、各社の提案が相互補完的であるか。

### iv. 技術評価

- ・ 先行技術に対し技術優位性が示されているか。
- ・ 長期運用可能となる技術を採用しているか。
- ・ 高効率な技術を採用しているか。
- ・ スケールアップ、展開に十分期待できる技術であるか。
- ・ 化石燃料由来ジェット燃料に対し化石エネルギー収支、温室効果ガス削減効果において優位性があるか。
- ・ 権利化しうる技術に対する取組があるか。

# 7. 委託先の選定

## (2) 審査基準

公募要領（本文） p.7-8

採択審査委員会では、次の視点から審査します。

- v. 社会的目標への対応の妥当性
  - ・脱炭素化社会構築に貢献するか。

## (4) 公募スケジュール

公募要領（本文） p.8

2020年

- 5月12日 : 公募開始※
- 7月17日 : 公募締め切り
- 8月13日（予定） : 採択審査委員会※※（外部有識者による審査）
- 8月下旬（予定） : 契約・助成審査委員会
- 8月下旬（予定） : 交付先決定
- 9月上旬（予定） : 公表（プレスリリース）
- 10月中～下旬（予定） : 交付

**※新型コロナウイルスの影響を考慮し公募説明会は開催をいたしません。**  
**※※採択審査委員会では、ヒアリングおよび補足資料等作成をお願いする場合があります**

## （1）研究開発計画の変更について

公募要領（本文） p.8-14

- ステージゲート方式の採用等により、研究開発の途中段階にて実施内容の見直しや、研究開発を中止する場合があります。

## （2）企業化状況報告書等の提出

- 採択された事業にあっては、助成事業完了後に企業化に努めていただくとともに、5年後までの企業化状況報告書を毎年度提出していただきます。また、助成事業の成果を踏まえた当該助成事業に係る事業化計画書等を提出していただくことがあります。

## （3）収益納付

- 当該助成事業の企業化等により、収益が生じたと認められたときは交付した助成金の全部又は一部に相当する金額を納付していただくことがあります。

## （4）処分制限財産の取扱い

- 助成金執行の適正化の観点から、助成事業で取得した機械装置等の取得財産には処分制限があります。（交付規程第16条）

### (5) 助成金交付申請書

公募要領（本文） p.8-14

- 採択は当該年度の申請内容に関するものであり、次年度の採択に当たっては、改めて助成金交付申請書を提出していただくとともに、事業の評価を実施します。評価の結果により、当初申請されていた助成期間内であっても、助成金の交付を中止することがあります。

### (6) 主任研究者研究経歴書

- 助成事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴書に記載していただきます。

### (7) N E D O 研究開発プロジェクトの実績調査票の記入

- 過去に実施したN E D Oの研究開発プロジェクトの成果について調査票に記載していただきます。詳細につきましては別添2を参照してください。なお、本調査は採択審査に活用しますので、必ず提出をお願いいたします。

### (8) 追跡調査・評価

公募要領（本文） p.8-14

- 助成事業終了後、追跡調査・評価に御協力いただく場合がございますので御協力をお願い申し上げます。追跡調査・評価については、添付の参考資料1「追跡調査・評価の概要」を御覧願います。また、特許等の取得状況及び事業化状況調査（バイドールフォローアップ調査）についても、御協力をいただく場合がございます。

### (11) 交付決定の取り消し

- 申請内容の虚偽、助成金の重複受給等が判明した場合、交付決定後であっても交付決定を取り消し、助成金の返還を求めることがあります。

### (12) 公的研究費の不正な仕様及び不正な受給への対応

### (13) 研究活動の不正行為への対応

- 当該研究費について、不正行為の重大性などを考慮しつつ、全部又は一部を返還していただくことがあります。（詳しくは、公募要領の箇条8. (12)及び(13)をご覧ください）

公募要領（本文） p.14

本事業の内容及び契約に関する質問等は

2020年5月19日（火）12時までの間（土日を除く）

それ以降、提案に係る手続きに関する質問に限り

2020年5月20日（水）から7月9日（木）12時までの間  
（土日を除く）下記宛にメールにて受付けます。

件名に「バイオジェットジェット燃料生産技術開発事業/実証を通じた  
サプライチェーンモデルの構築に関する問い合わせ」と記載の上、以  
下の宛先にお送りください。

※審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
新エネルギー部 バイオマスグループ 中森、柴原、吉田、木邑、小林  
mail : nedo.biofuel@ml.nedo.go.jp

# 2020年度課題設定型産業技術開発費 助成事業提案書

## 様式第 1

(様式第 1)

社内文書番号がある場合は記入してください。  
無い場合は削除してください。

番 号  
年 月 日  
(提出日を記載)

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
理事長 石塚 博昭 殿

- 代表者名には、役職・氏名を記載してください。
- 代表者は会社の代表権のある方とします。
- 印は代表者印です。
- 共同提案の場合、提案者毎に作成してください。

申請者 住 所  
名 称  
代表者名 印

e-Radの研究機関コード(10桁)

1.  
2.  
3.

2020年度課題設定型産業技術開発費助成事業提案書  
(バイオジェット燃料生産技術開発事業/実証試験プラットフォームモデルの構築)

新型コロナウイルス感染症の影響により、提案書への押印が提出期限までに完了しない場合、全法人または一部法人が未押印の提案書も受け付けることとします。ただし、8月7日(金)までに、改めて押印済みの表紙をご提出ください。この際、提案内容は変更できません。

250字以内で記入してください。

## 添付資料 1

- ✓ 助成事業実施計画書（添付資料1）は外部有識者による事前審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。
- ✓ ただし、外部有識者に提出したくない内容は、本紙には概要のみを記入し、詳細は添付資料4に記載してください。
- ✓ この場合、本紙に記入する概要が簡略すぎると、評価者の判断材料が不足し、評価が低くなる恐れがあるので注意してください。

### (1)事業目的、目標及び事業による効果

#### ①事業目的

- ✓ マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等について具体的かつ簡潔に説明してください。

#### ②事業目標

- ✓ 技術開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。
- ✓ さらに、NEDOの基本計画を達成するために基本計画と技術開発テーマとの関係ならびに技術開発テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。
- ✓ 共同提案の場合、それぞれの理由等を明示してください。

#### ③事業による効果

- ✓ 一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。

### (2)事業概要

- ✓ 事業内容の概要を簡潔に記載してください。

## (3)事業内容

## 添付資料 1

**[留意事項]**

- ✓ 研究開発に対する助成（補助）であるという性質に鑑み、(1)②の事業目標を達成するために必要な延久開発の必要性、内容を説明してください。
- ✓ また、事業内容については少なくとも以下の検証項目に対する内容を含む、本事業で取り組む内容について明確に記載ください。

## ▶ サプライチェーンモデルの構築

## ①原料調達プロセス

(原料の入手の可能性と継続性、想定する入手先（輸入を含む）、契約、コスト、法規対応、利用実績等の知見や調査による、実証の期間およびそれ以降の原料の安定調達について。)

## ②純バイオジェット燃料製造以降のプロセス

製造場所、製造規模、製造プロセス等を含めた製造に係る諸条件の検証、製造に係る詳細設計、品質管理、輸送（ASTM D7566の認証が未取得の技術にあつては、取得までの計画を含む）

## ③純バイオジェット燃料の混合以降のプロセス

純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合、混合後の品質保証体制、混合前および混合後の燃料の運搬・保管、使用先施設への供給等の方法。

## ▶ 事業性評価

## ④環境影響評価

ICAOの各算出方法に基づく化石エネルギー収支、温室効果ガス削減効果、土地利用変化、生物多様性への影響等についての検証。

## ⑤製造コスト評価および事業性評価

多様な純バイオジェット製造技術のうち先行するHEFA技術によるバイオジェット燃料価格に対し競争力のある製造コストの実現性、および事業持続可能性。

## ▶ 事業化計画

## ⑥助成事業終了後の事業化計画

ただし、サプライチェーンモデルの構築①～③のうち、①、②は必須とし、③は純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合プロセスや、混合プロセスの想定される実施場所などの特殊性を勘案し、その必要性に応じて実施することとするが、事業性評価および事業化計画には本範囲を含むものとする。

## (3)事業内容

### [留意事項]

## 添付資料 1

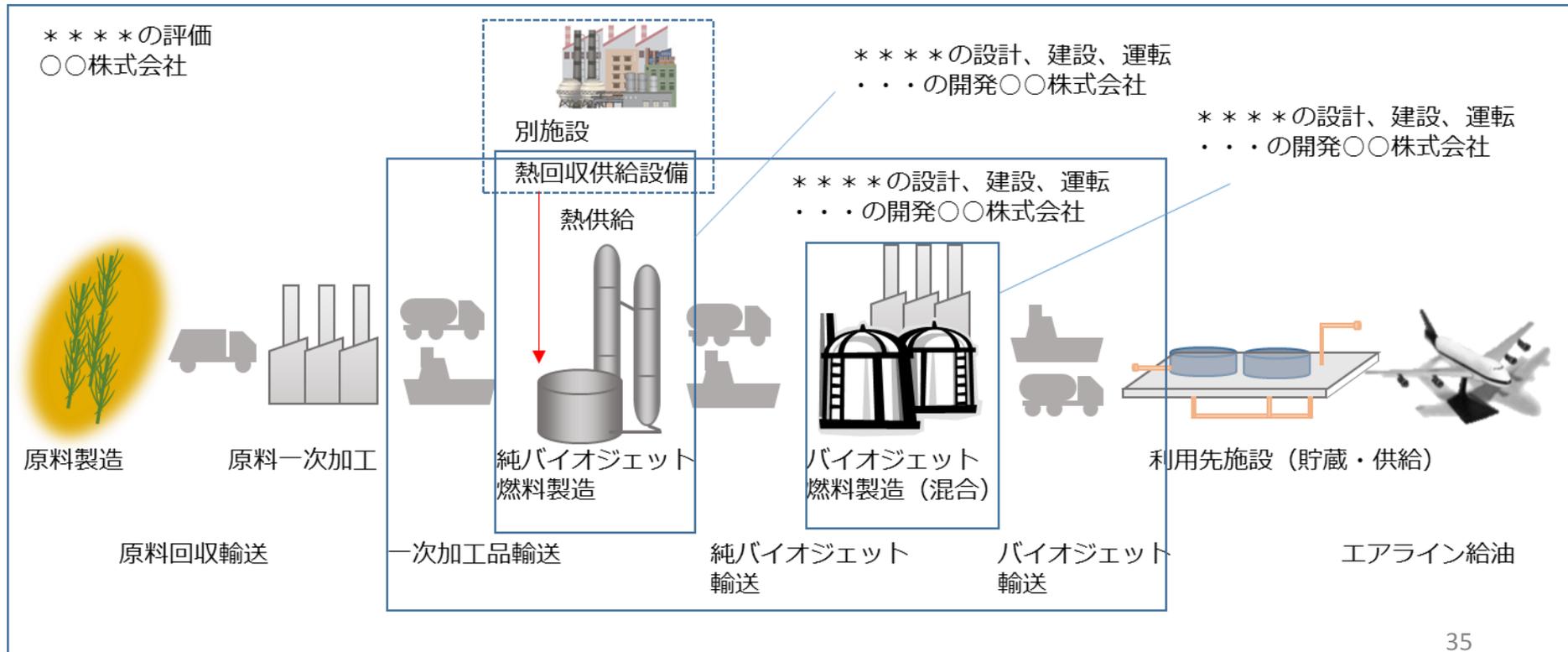
- ✓ 技術開発で克服すべき課題とその問題を解決する手段、今回の開発で達成できるレベルを、明確にかつ簡潔にできるだけ図表を使用して記入してください。共同提案の場合、それぞれの役割分担等を明示してください。
- ✓ また、提案する技術開発内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。

## 添付資料 1

### (4) 事業の範囲

- ✓ 関連するステークホルダー、サプライチェーンに全体における事業の対象範囲、(3)に記載の各事業者等の実施内容の分担(範囲)について図示(ポンチ絵)してください。

(記載例) 一例を示しますので、わかりやすく図示ください。



# 助成事業実施計画書 2. 実施計画

## 添付資料 1

### 2. 実施計画

事業項目	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度				2024年度			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期																
①×××の検討																				
②×××の試験																				
③×××の設計																				
④×××の製作																				
⑤×××の開発																				
⑥×××の評価																				
⑦×××の海外調査																				
⑧××委員会の開催																				

上記「1. (3)事業内容」であげた  
各技術開発項目の実施計画  
を記載してください。

# 助成事業実施計画書

## 3. 助成先における研究体制

(2) 助成先における研究体制

添付資料 1  
別紙 1

助成先名	〇〇株式会社				
主任研究者	氏名	フリガナ	所属・役職		
	** **	△△ △△	〇〇部 部長		
経理責任者	氏名	フリガナ	所属・役職		
	** **		経理部長		
事業 担当窓口	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇号 (最寄り駅: 〇〇鉄道 〇〇線 〇〇駅)				
	氏名	フリガナ	所属・役職	電話	FAX E-mail
	** **				
検査・支払 担当窓口	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇号 (最寄り駅: 〇〇鉄道 〇〇線 〇〇駅)				
	氏名	フリガナ	所属・役職	電話	FAX E-mail
	** **				
研究実施場所①	〇〇 〇〇研究所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇号 (最寄り駅: 〇〇鉄道 〇〇線 〇〇駅)				
	氏名	フリガナ	e-Rad研究者番号	所属・役職	主な担当事業内容
登録研究員	<input type="checkbox"/> 〇〇 〇〇				
	<input type="checkbox"/> 〇〇 〇〇				
	<input type="checkbox"/> 〇〇 〇〇				
	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇 〇〇				
	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇 〇〇				
	<input type="checkbox"/> 〇〇 〇〇				
研究実施場所②	〇〇株式会社 〇〇〇センター 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇号				
主任研究者	氏名	フリガナ	e-Rad研究者番号	所属・役職	主な担当事業内容
	** **			課長	
登録研究員	氏名	フリガナ	e-Rad研究者番号	所属・役職	主な担当事業内容
研究分担先/ 分室名	〇〇株式会社				
主任研究者	氏名	フリガナ	所属・役職		
	** **		〇〇学部 教授		
経理責任者	氏名	フリガナ	所属・役職		

e-Rad研究者番号を有しない場合は、空欄としてください。

主任研究者であっても未登録では労務費、旅費の計上はできません。

時間単価の登録研究員は名前の前に□印を付けてください。

率専従証明書を提出する登録研究員は名前の前に◆印を付けてください。

労務費を計上しない登録研究員は名前の前に▽印を付けてください。

研究実施場所が複数ない場合は「研究実施場所②」、「主任研究員」、「登録研究員」の欄は省略するか空欄にしてください。

主任研究者は、研究実施場所毎に登録が必要です。

研究分担先、分室がある場合は、記載してください。無い場合は、省略します。

# 助成事業実施計画書

## 4. 助成事業に要する費用の内訳等

- ✓ 年度毎に作成をお願いします
- ✓ 可能な限り細分化（機器、用途等アイテムごと）して計上ください

添付資料 1  
別紙 2

項目別明細表（助成先用）

(4) ●●●●株式会社 項目別明細表(20年度)

核算基礎(円)				助成事業に要する経費	助成対象費用	助成金の額(円)
<b>I. 機械装置等費</b>						
1. 土木・建築工事費	〇〇土木・建築工事費	◎	円 × H	0	0	0
2. 機械装置等製作・購入費	〇〇製作設計費	◎	円 × H	0	0	0
	〇〇製作加工費	◎	円 × H	0	0	0
	〇〇試験装置 一式		-	0	0	0
	〇〇評価装置 一式		-	0	0	0
	〇〇作成装置 一式		-	0	0	0
3. 保守・改修経理費	〇〇装置改修費 一式		-	0	0	0
	〇〇装置保守費 一式		-	0	0	0
<b>II. 労務費</b>						
1. 研究員費		◎	円 × H	0	0	0
2. 補助員費		◎	円 × H	0	0	0
<b>III. その他経費</b>						
1. 消耗品費	〇〇薬品 一式		-	0	0	0
	〇〇実験器具 一式		-	0	0	0
2. 旅費			-	0	0	0
(1) 研究員旅費	国内旅費一式		-	0	0	0
	海外旅費一式		-	0	0	0
(2) 専門家旅費	海外旅費一式		-	0	0	0
3. 外注費			-	0	0	0
	〇〇ソフト開発外注		-	0	0	0
4. 雑経費			-	0	0	0
(1) 機械リース料		◎	円 × ヶ月	0	0	0
(2) 委員会費	委員会費一式		-	0	0	0
	委員旅費一式		-	0	0	0
(3) 報告書等作成費	電子ファイル作成一式		-	0	0	0
<b>IV. 再委託費・共同研究費</b>						
1. 委託費・共同研究費			-	0	0	0
	株式会社□□		-	0	0	0
2. 学術機関等に対する共同研究費	学校法人▽▽大学		-	0	0	0
<b>合計(I+II+III+IV)</b>				0	0	0

## 添付資料2

### 1. 研究開発を行う製品・サービス等の概要

#### (1)内容

- ✓ 製品・サービス等の内容や、研究開発の成果が、当該製品・サービスへ**どのように反映されるか**を記載してください。

#### (2) 製作・実施等の制約

- ✓ 製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先（国、企業、産地等）や制約等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。

#### (3)用途（販売予定先）

- ✓ 当該製品・サービスの販売ルート（国、地域含む）、販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。

## 2. 研究開発への取組

- ✓ 実用化を目指す上での開発計画（開発拠点含む）、投資計画（製造拠点含む）、実用化能力を説明記載してください。

### (1)研究開発を考えるに至った経緯（動機）

### (2)事業として成功すると考えた理由

- ✓ 事業化を検討する上で事業者が保有する実績、成果等を整理したうえで、技術事業の新規性、独創性、他との競争力、生産計画、販売計画など具体的に述べてください。
- ✓ 予め事業性評価や可能性調査に実施し、事業可能性について検討している場合はその成果について記述ください。

## 添付資料2

### (3)事業化のスケジュール

- ✓ 助成期間終了後5年間の事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記述してください。
- ✓ 事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記述してください。
- ✓ また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。
- ✓ 生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

(記入例)

年度	年度	年度	年度	年度	年度
製品設計	-----				
設備投資	-----				
生産	-----				
販売	-----				
収益発生	-----				
			◇続行/	中断を判断	

予想される重大な障害 :  
 製品設計段階 : ~~~~~  
 設備投資 : ~~~~~  
 生産 : ~~~~~  
 販売 : ~~~~~

## 3. 市場の動向・競争力

### (1) 市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

- ✓ 販売開始後5年経過までの国内と海外の市場規模推移（百万円）を示し、その根拠を記述してください。提案者のみの市場シェアにこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。
- ✓ また、市場における提案者のシェアの推移を見通し、その根拠を記述してください。

販売開始後5年経過までの国内と海外の市場規模推移（百万円）を示し、その根拠を記述してください。提案者のみの市場シェアにこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。  
また、市場における提案者のシェアの推移を見通し、その根拠を記述してください。

	市場規模	提案者のシェア
例：1年目（年度）	〇〇〇百万円	%
2年目（年度）	〇〇〇百万円	%
〜〜		
5年目（年度）	〇〇〇百万円	%

市場規模算出の根拠：~~~~~

シェア見通しの根拠：~~~~~

### (2) 競合が想定される他社の開発動向とそれに対する優位性の根拠

- ✓ 競合が想定される他社の製品・サービスに対し、予想される価格・仕様などを考慮して、自社製品・サービスの優位性の根拠を記述してください。

### (3) 価格競争力

- ✓ 競合製品・サービスの市場価格と自社製品価格の比較、損益分岐点など、価格競争力の算出根拠を記述してください。

### 4. 売上見通し

#### (1) 売上見通し（単位：百万円）

- ✓ 販売開始後5年経過までの売上と収益の見通しを記述してください。また、販売単価、販売数、原価など、売上と収益の算出根拠を記述してください。

	販売単価	販売数	売上	製品原価	収益
例：1年目（年度）	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇〇百万円	〇〇〇百万円	〇〇百万円
2年目（年度）	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇〇百万円	〇〇〇百万円	〇〇百万円
〜〜					
5年目（年度）	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇〇百万円	〇〇〇百万円	〇〇百万円

#### (2) 売上見通し設定の考え方（算出の基本となる製品、サービス等の予定価格等を具体的に記述すること。）

- ✓ どのような仕組みで収益を得るのか、投資額など収益の算出根拠を含め、収益計画を記述してください。

# バイオジェット燃料生産技術開発事業 実証を通じたサプライチェーンモデルの構築

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

添付資料5

## 「助成事業の名称 ● ● ● ● ● ●」

- 本様式に従い、提案書の内容について図表など補記したうえでプレゼン資料の作成をお願いします。
- 頁は適宜追加してください。

2020年 ● ● 月 ● ● 日 ( ● )

● ● ● ● 株式会社 (法人名)

● ● ● ● 株式会社 (法人名)

● ● ● ● 株式会社 (法人名)

# 1. 提案者の概要

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例 提案者毎に作成ください)

添付資料5

(1)提案者名 (法人番号)

(2)従業員数 (うち研究開発部門従事者数) 名 ( 名)  
従業員数は提出時点を基準としてください。

(3)大企業・中堅・中小・ベンチャー企業の種別 ○○企業

(4)現在の主要事業内容 (主な製品等)  
現在の事業内容 (主な製品等) を記入してください。

(5)資本金、売上高 (直近3期分)、経常利益 (直近3期分)

資本金	●●千円
売上高	●●百万円(2019年度) ●●百万円(2018年度) ●●百万円(2017年度)
経常利益	●●百万円(2019年度) ●●百万円(2018年度) ●●百万円(2017年度)
会計監査法人名	

## 2. 実施計画の細目

### (1)事業目的、目標及び事業による効果

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

#### (記載例)

#### 添付資料5

##### ①事業目的

- マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等について具体的かつ簡潔に説明してください。（提案者の課題、強みについても言及してください。）

##### ②事業目標

- 実証事業の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。
- さらに、NEDOの基本計画を達成するために基本計画と実証事業テーマとの関係ならびに実証事業テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。

## 2. 実施計画の細目

### (1)事業目的、目標及び事業による効果

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

#### (記載例)

#### 添付資料5

#### ③事業による効果

- 一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。

#### ④他の補助金制度等による交付金受給の有無

(当該研究開発の全てもしくは一部及び当該研究開発に関連した開発で、これまでに国、N E D O、地方自治体等からの委託又は補助金交付を受けたことがある場合あるいは現在申請中の場合には、その概要を明記すること。)

- 国、N E D O、地方自治体を問わず、過去から現時点で関連しているものを不採択になった案件を含め、全て記述してください。また、現時点で申請中の案件も記述してください。記述内容としては、実施機関の名称、制度名称、対象期間、交付金の額等をお書きください。

## 2. 実施計画の細目

### (2) 事業の範囲

提案者  
〇ゴマーク

提案者  
〇ゴマーク

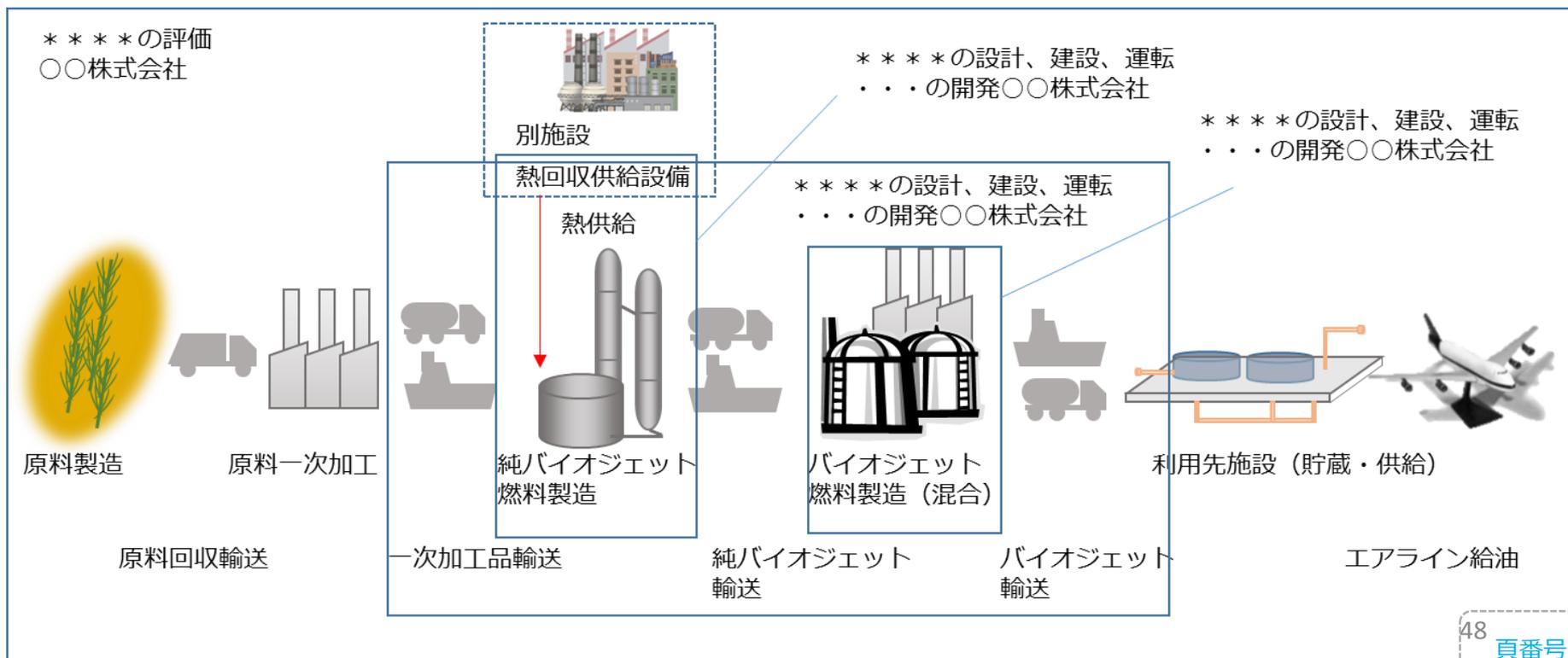
提案者  
〇ゴマーク

#### (記載例)

#### 添付資料5

➤ ●●●●●●●●●●を実施する。

- 提案する事業の中で該当する次ページの検証項目について本事業で取り組む概要について記載ください。
- 規模、技術、場所、実証の範囲を明確に記載ください。
- 併せて、事業者が取り組む範囲、実施項目について下図ポンチ絵例を参考に図示してください。



## 2. 実施計画の細目

### (2) 事業概要

#### (検証項目)

添付資料5

【サプライチェーンモデルの構築】

##### ①原料調達プロセス

(原料の入手の可能性と継続性、想定する入手先(輸入を含む)、契約、コスト、法規対応、利用実績等の知見や調査による、実証の期間およびそれ以降の原料の安定調達について。)

##### ②純バイオジェット燃料製造以降のプロセス

製造場所、製造規模、製造プロセス等を含めた製造に係る諸条件の検証、製造に係る詳細設計、品質管理、輸送 (ASTMD7566の認証が未取得の技術にあっては、取得までの計画を含む)

##### ③純バイオジェット燃料の混合以降のプロセス

純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合、混合後の品質保証体制、混合前および混合後の燃料の運搬・保管、使用先施設への供給等の方法。

【事業性評価】

##### ④環境影響評価

ICAOの各算出方法に基づく化石エネルギー収支、温室効果ガス削減効果、土地利用変化、生物多様性への影響等についての検証。

##### ⑤製造コスト評価および事業性評価

多様な純バイオジェット製造技術のうち先行するHEFA技術によるバイオジェット燃料価格に対し競争力のある製造コストの実現性、および事業持続可能性。

【事業化計画】

##### ⑥助成事業終了後の事業化計画

## 2. 実施計画の細目

### (3) 事業概要

提案者  
□ゴマーク

提案者  
□ゴマーク

提案者  
□ゴマーク

### (記載例)

### 添付資料5

①××××の検討（担当：□□□株式会社）

.....

②××××の試験（担当：△△△株式会社）

.....

③××××の設計（担当：○○○株式会社）

.....

- (1)②の事業目標を達成するために必要な実証事業の内容を前ページの検証項目への取組と共に説明してください。実証事業で克服すべき課題とその問題を解決する手段、今回の開発で達成できるレベルを、明確にかつ簡潔にできるだけ図表を使用して記入してください。共同提案の場合、それぞれの役割分担等を明示してください。
- また、提案する実証事業内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。

# 3. 実施計画の細目

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例)

研究体制図を記載してください。 ※

添付資料5

### 【助成先】

#### 〇〇〇株式会社

主な実施（担当）項目：

- ・ 設備建設・設置
- ・ ①〇〇の研究
- ・ ②〇〇の試験
- ・ ③〇〇の設計

### 【共同研究先】

#### 国立大学法人▽▽▽大学

主な実施（担当）項目：

- ・ 〇〇の分析・データ解析

(〇〇〇〇を共同研究)

### 【委託先】

#### △△△株式会社

主な実施（担当）項目：

- ・ 〇〇の分析・データ解析

(〇〇〇〇を委託)

#### 国立大学法人□□□大学

主な実施（担当）項目：

- ・ 〇〇の分析・データ解析

(〇〇〇〇を委託)

※ 但し、複数の助成先が、それぞれの明確な分担関係をもって、対等な立場でNEDOの助成事業を行う場合には、共同で提案してください。

# 4. 実施計画の細目

提案者  
□ゴマーク

提案者  
□ゴマーク

提案者  
□ゴマーク

(記載例)

添付資料5

上記「2.(3)事業内容」であげた各技術開発項目の実施計画を記載してください。

	2020年度				2021年度				2022年度				2023年度				2024年度				計
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q																	
1.×××の検討																					
1-1.×××の調査																					
1-2.×××の開発																					
合計																					

# 5. 助成事業に要する費用の内訳等

提案者  
□ゴマーク

提案者  
□ゴマーク

提案者  
□ゴマーク

**(記載例 事業者毎に作成ください)**

**添付資料5**

助成先総括表を記載してください。委託先、共同研究先総括表等は記載不要です。

●●●株式会社

(単位：円)

項目	事業期間全体 (助成対象費用)	事業期間全体 (助成金の額)	2020	2021	2022	2023	2024
I. 機械装置等費	0	0	0	0	0	0	0
1. 土木・建築工事費	0	0	0	0	0	0	0
2. 機械装置等製作・購入費	0	0	0	0	0	0	0
3. 保守・改造修理費	0	0	0	0	0	0	0
II. 労務費	0	0	0	0	0	0	0
1. 研究員費	0	0	0	0	0	0	0
2. 補助員費	0	0	0	0	0	0	0
III. その他経費	0	0	0	0	0	0	0
1. 消耗品費	0	0	0	0	0	0	0
2. 旅費	0	0	0	0	0	0	0
3. 外注費	0	0	0	0	0	0	0
4. 諸経費	0	0	0	0	0	0	0
IV. 委託費・共同研究費	0	0	0	0	0	0	0
1. 委託費・共同研究費	0	0	0	0	0	0	0
2. 学術機関等に対する 共同研究費	0	0	0	0	0	0	0
合計(I + II + III + IV)	0	0	0	0	0	0	0
※助成金の額	0	0	0	0	0	0	0

<※補助率 ○/○>

# 6. 研究開発の取組

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例)

### 添付資料5

➤ 実用化を目指す上での開発計画、投資計画、実用化能力を説明記載してください。

(1) 研究開発を考えるに至った経緯（動機）

(2) 事業として成功すると考えた理由

➤ 事業の新規性、独創性、他との競争力、生産計画、販売計画など具体的に述べてください。

# 6. 研究開発の取組

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例)

## 添付資料5

▶ 実用化を目指す上での開発計画、投資計画、実用化能力を説明記載してください。

### (3)事業化のスケジュール

- ▶ 助成期間終了後5年間の事業化計画を、生産・販売・市場獲得などの具体的な事業化の段階に区分し、事業化の各段階が明瞭となるよう線表で記述してください。
- ▶ 事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記述してください。
- ▶ また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。
- ▶ 生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
製品設計	—————					
設備投資		—————				
生産			—————	—————	—————	—————
販売			—————	—————	—————	—————
収益発生					—————	—————

◇続行／中断を判断

予想される重大な障害：

製品設計段階：~~~~~

設備投資：~~~~~

生産：~~~~~

販売：~~~~~

# 7. 市場の動向・競争力

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例)

添付資料5

(1)市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

- 販売開始後5年経過までの国内と海外の市場規模推移（百万円）を示し、その根拠を記述してください。提案者のみの市場シェアにこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。
- また、市場における提案者のシェアの推移を見通し、その根拠を記述してください。

	市場規模	提案者のシェア
例：1年目（ 年度）	〇〇〇百万円	%
2年目（ 年度）	〇〇〇百万円	%
～～		
5年目（ 年度）	〇〇〇百万円	%

市場規模算出の根拠： ～～～

シェア見通しの根拠： ～～～

# 7. 市場の動向・競争力

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例)

### 添付資料5

(2) 競合が想定される他社の開発動向とそれに対する優位性の根拠

- 競合が想定される他社の製品・サービスに対し、予想される価格・仕様などを考慮して、自社製品・サービスの優位性の根拠を記述してください。

(3) 価格競争力

- 競合製品・サービスの市場価格と自社製品価格の比較、損益分岐点など、価格競争力の算出根拠を記述してください。

# 8. 売上見通し

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

提案者  
ロゴマーク

## (記載例)

### 添付資料5

(1)売上見通し（単位：百万円）

- 販売開始後5年経過までの売上と収益の見通しを記述してください。また、販売単価、販売数、原価など、売上と収益の算出根拠を記述してください。

	販売単価	販売数	売上	製品原価	収益
例：1年目（年度）	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇〇百万円	〇〇〇百万円	〇〇百万円
2年目（年度）	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇〇百万円	〇〇〇百万円	〇〇百万円
～～					
5年目（年度）	〇〇万円	〇〇〇個	〇〇〇百万円	〇〇〇百万円	〇〇百万円

(2)売上見通し設定の考え方（算出の基本となる製品、サービス等の予定価格等を具体的に記述すること。）

- どのような仕組みで収益を得るのか、投資額など収益の算出根拠を含め、収益計画を記述してください。

## (自由様式)

- 応募に際してのアピール点等、図表も含め記載ください  
(例) 技術の優位性等

添付資料5

## 別添 1

事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を**主任研究者研究経歴書（様式 1）**に記入し提出してください。

なお、**主任研究者は研究実施場所ごとに登録が必要です（共同申請の場合、申請者ごとに最低1名は登録が必要です）**。また研究員が主任研究者を兼ねることも可能です。

### 注意点

#### ①**研究開発経歴**（現職含む）：

「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、**自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載**してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

#### ②**受賞歴、当該研究開発に関する最近5年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）**：

- **当該研究開発プロジェクトに関連する研究成果を記載**してください
- 研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

# N E D O 研究開発プロジェクトの実績調査票



下記のとおり提出くださいますようお願いいたします。  
調査結果については、N E D O 内において、厳重な管理の下で **別添 2** 取り扱うこととしており、情報を外部に公表する場合には、統計処理するなど企業名が特定されないよう細心の注意を払わせていただきます。  
なお、本調査は採択審査に活用しますので、必ず提出をお願いいたします。

<b>対象者</b>	提案書の実施体制に含まれる全ての <b>実施者（再委託先、共同実施先を含む）のうち、企業のみが対象</b> です。技術研究組合については、構成する全ての法人のうち企業のみが対象です。なお、同一年度において同一法人当たり一回の御協力をお願いします。他のN E D O 事業公募時に提出している場合は、調査票の提出済み欄にチェックして提出ください。
<b>対象プロジェクト</b>	対象者が過去に実施したN E D O の研究開発プロジェクト（再委託先、共同実施先を含む）。ただし、対象は、過去15年間（前身の特殊法人での案件を含む）のプロジェクト。また、同一年度にN E D O へ企業化状況報告書を提出するもの、追跡調査にて御回答いただくものは除きます。（補足QA参照）
<b>記入方法</b>	調査票に記入してください。 対象が5件以上ある場合には、売上や成果の活用面で高く評価できるものから5件（1者当たり）を対象者にて選定してください。 調査票は対象者ごと、プロジェクトごとに複製して利用ください。
<b>提出方法</b>	公募期限までに、対象者ごとにまとめて提出してください。
<b>問合せ先及び提出先</b>	提案書と同じ。
<b>その他</b>	記載いただいた内容に関して、問い合わせさせていただくことがあります。

# N E D O 研究開発プロジェクトの実績調査票



別添 2

- ・ 企業ごとに本票を複製して記入してください。
- ・ 実施実績が多くある場合は、効果が大きい順に複数（最大 5 種）お書きください。
- ・ 提案書とは別に N E D O へ直接提出してもかまいません。

1. 今回提案するプロジェクト	バイオジェット燃料生産技術開発/実証を通じたサプライチェーンモデルの構築/○○○○○○○○○○○○
2. 企業名	○○株式会社
3. 記載免除条件	<p>&lt;下記に該当する場合チェックしてください。過去の実績実績欄の記載は不要です。&gt;</p> <input type="checkbox"/> 過去15年間、N E D O プロジェクト実施実績なし <input type="checkbox"/> 同一年度に既に他の公募にて提出済 （応募事業名：○○○技術開発 公募期間：平成○年○月○日～平成○年○月○日）
4. 直近の報告	<input type="checkbox"/> 類似の調査にて報告済（調査名：○○に関する調査） <input type="checkbox"/> 同一年度追跡調査にて報告済（※プロジェクト終了後6年以内） （該当プロジェクト名：P00000 ○○技術開発） <input type="checkbox"/> 同一年度に企業化状況報告書（又は実用化状況報告書）にて報告済
5. 過去の 実施実績①	※過去15年以内に実施した N E D O プロジェクトの成果について記載してください。

詳細は別紙 2 を参照ください。

別添3

(提案者名) (※共同提案を行う場合は、併記してください。大学や公的研究機関の場合は、研究代表者について、大学又は大学院に所属する研究者は、学科又は専攻まで所属を、公的研究機関に所属する研究者は、部門やセンターまで所属を記載ください。)

〇〇株式会社

〇〇大学〇〇学部〇〇学科 教授 〇〇 〇〇

〇〇大学院〇〇研究科〇〇専攻 教授 〇〇 〇〇

〇〇研究所 〇〇部門 部門長 〇〇 〇〇

(研究開発テーマ)

〇〇の研究開発

(技術的なポイント)

(利害関係者に該当すると思われる方がいらっしゃる場合には、御記載ください。)

# 提案書類と部数

書類	部数 (原紙・データは提案者にて保管ください)	電子ファイル 各ファイル毎の データとして提出 ください
提案書 (様式第1) 共同提案の場合は提案者毎に作成	法人ごとに1部	Microsoft Office形式 PDF不可
助成事業実施計画書 (添付資料1)	1部	
企業化計画書 (添付資料2) 共同提案の場合は提案者毎に作成	法人ごとに1部	
事業成果の広報活動 について (添付資料3) 共同提案の場合は提案者毎に作成	法人ごとに1部	
非公開とする提案内容 (添付資料4) 共同提案の場合は必要に応じて提案者毎に作成	必要に応じて法人ごとに1部	
主要研究員 研究経歴書 (別添1)	1部	
利害関係の確認について (別添3)	1部	
プレゼン資料 (別添5)	1部	
会社案内 (会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書)	法人ごとに1部	形式の指定 無し
直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表 (貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書。大学等については、財務諸表などの決算報告書(事業報告書)を添付してください)	法人ごとに1部	
NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票 (別添2) (企業のみ)	法人ごとに1部	
e-Rad応募内容提案書	代表して1部	
国外企業等と連携などがある場合は、国外企業との連携もしくは国外企業が関心を示す文書(公募要領 箇条5.(2))	一式	
提案書類受理票 (別添4)	代表して1部	

**ご応募、お待ちしております。**